

## (16)脳卒中地域連携パスの使用率

分子：分母のうち、「地域連携診療計画管理料」が算定された患者数

分母：医療資源を最も投入した傷病名が脳卒中（急性発症または急性増悪した脳梗塞、脳出血またはくも膜下出血）に該当する退院患者数

収集期間： DPC 病院：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

脳卒中の場合、急性期における治療が終了した後も、継続的な医学的管理とリハビリテーションが必要になります。患者によっては、在宅復帰のためにリハビリテーションケアの充実した回復期リハビリテーション病棟や亜急性病床で継続的な医療を受ける場合もあります。脳卒中の患者に継続的な医療を提供するため、地域連携パスが作成されており、診療報酬上でもその利用が評価されています。本指標は脳卒中の退院患者のうち、どのくらいの患者が地域連携パスの対象となっているかを指标化することで、各病院の脳卒中治療における連携レベルを評価するものです。



指標 16：脳卒中地域連携パスの使用率

